

地方独立行政法人天王寺動物園の業務実績評価シート

別添

(令和6年度中実績・令和7年度評価)

【大項目評価点】
 S：特筆すべき進捗状況
 A：計画どおり
 B：おおむね計画どおり
 C：やや遅れている
 D：重大な改善事項あり

【小項目評価点】
 V：計画を大幅に上回って実施している
 IV：計画を上回って実施している
 III：計画を順調に実施している
 II：計画を十分実施できていない
 I：計画を大幅に下回っている

【小項目評価（V～I）の大項目評価（S～D）への反映の考え方】
 ●小項目について、概ねⅢの評価であれば、大項目はBの評価を基本とする。
 ●大項目について、B以外の評価を行う場合は、小項目評価でⅣ以上の高評価やⅡ以下の低評価となっている項目について、単に項目数ではなく、項目ごとの内容の中期目標での重要性等を考慮し、総合的に判断の上、その理由を示す。

大項目（中期目標より）				小項目（R6年度計画より）				評価委員会意見
番号	内容	評価	評価の理由	番号	内容	法人評価	市長評価	
1	住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 動物展示の充実と快適な園内環境の創出による天王寺動物園の魅力向上	A	<ul style="list-style-type: none"> ・JAZA（日本動物園水族館協会）等動物園コミュニティの活動への継続的な参加に加え、他園館から個体を預かり、健康状態を良好に保ったうえで返還したことで、園の信頼向上につなげた。 ・「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（種の保存法）の規定による「認定希少種保全動物園」に認定されたことは、動物導入にかかる手続を簡略化することができ、ニホンイヌワシの有精卵の迅速な譲渡に寄与した。 ・令和7年1月1日に開園110周年を迎え、各種イベント、広報活動について積極的に取り組んだ。 ・複数の動物を導入し展示の充実を図ったほか、園の魅力発信、サービスの充実を通じて園の魅力向上につながった。 ・上記より、計画どおりであることからA評価とする。 	1	コレクション計画に基づく新規希少動物の導入に向けて国内外他園館等と調整を図る。	IV	IV	項目1（動物導入） ・他園の動物を預かるということは技術力に自信が無いとできないことである。 項目2（種別管理等） ・ニホンイヌワシの件は大きな成果であり、評価して良い。 項目4（イベントの実施） ・各種イベントや情報発信については色々とチャレンジしており、頼もしささえ感じる。高く評価できる。
				2	JAZAの個体群管理計画に基づく種別管理担当等と緊密に連携を図り、情報収集を行うことで展示動物の充実に取り組む。	III	IV	
				3	JAZA、WAZA開催の研究会、地域別会議等に積極的に参画し、得られた情報を共有することで飼育技術の向上に取り組む。	III	III	
				4	これまでのイベントの検証結果を踏まえ、今後のイベントのさらなる魅力向上（学習効果・集客力・リピーター増）に繋げる。また、令和7年1月1日に開園110年を迎えることから、シンボルイヤーとして位置づけ、様々な周年イベントを実施する。	IV	IV	
				5	継続してファンクラブ募集に取り組む、前年度を超える会員数を目標とする。	III	III	
				6	番組企画やロケーションを積極的に受け入れるとともに、HP・SNSの閲覧実績やコメントの内容等を分析し、ニーズに合った情報発信に繋げる。	III	III	
				7	園の基本情報や調査研究、種の保全等の取り組みを理解しやすくするため、多言語ホームページを充実させる。	III	III	

大項目（中期目標より）				小項目（R6年度計画より）				評価委員会意見
番号	内容	評価	評価の理由	番号	内容	法人評価	市長評価	
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	1 動物展示の充実と快適な園内環境の創出による天王寺動物園の魅力向上	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ JAZA（日本動物園水族館協会）等動物園コミュニティの活動への継続的な参加に加え、他園館から個体を預かり、健康状態を良好に保ったうえで返還したことで、園の信頼向上につなげた。 ・ 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（種の保存法）の規定による「認定希少種保全動物園」に認定されたことは、動物導入にかかる手続を簡略化することができ、ニホンイヌワシの有精卵の迅速な譲渡に寄与した。 ・ 令和7年1月1日に開園110周年を迎え、各種イベント、広報活動について積極的に取り組んだ。 ・ 複数の動物を導入し展示の充実を図ったほか、園の魅力発信、サービスの充実を通じて園の魅力向上につながった。 ・ 上記より、計画どおりであることからA評価とする。 	8	引き続き、ホスピタリティマインド醸成に関する方針に基づく取り組み（研修、研修効果定着のための取り組みなど、研修効果チェック）を体系的に実施する。	Ⅲ	Ⅲ	
				9	定期点検に加え、職員による日常点検や来園者の声等を踏まえた美観保持に取り組む。	Ⅲ	Ⅲ	
				10	「園内掲示物整備アクションプログラム」に基づく園内掲示物の点検及び更新を行うほか、リニューアル獣舎についても統一感のある掲示物を作成する。	Ⅲ	Ⅲ	
				11	令和5年度に完了した実施設計に基づき、ユニバーサルな観覧環境に配慮した施設整備を実施する。	Ⅲ	Ⅲ	
				12	継続して、来園者の声を分析し園運営の改善に取り組む。（HP・SNS含む）	Ⅲ	Ⅲ	
	2 動物の生態等に関する理解や関心を深めるための教育活動の推進	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育普及アクションプランに基づくディスカバープログラムについては、令和5年度に比べて実施件数が増加しており、アンケートからも利用者の行動変容がうかがえる結果となっており、教育活動の推進に貢献した。 ・ ボランティアクラブの会員数も目標数に達しており、活動機会の増加も含め法人の努力が現れている。 ・ 上記より、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 	13	ペンギンパーク&アシカワーフの「おやつ・ごはんタイム」について、より環境問題についての理解を深める内容とするため、アンケートの分析結果に基づいた評価を実施し、プログラムの改善を図る。	Ⅲ	Ⅲ	
				14	「教育普及アクションプラン」に基づいたメニューを継続実施し、その実施アンケート結果に基づいてメニューを改善する。	Ⅲ	Ⅲ	
				15	「天王寺動物園ボランティアクラブ1915」の活動機会を増やすほか、NPO法人や大学等と連携したイベントを実施することで来園者の学習機会を増やす。	Ⅲ	Ⅲ	

大項目（中期目標より）				小項目（R6年度計画より）				評価委員会意見	
番号	内容	評価	評価の理由	番号	内容	法人評価	市長評価		
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	3 動物福祉に配慮した飼育管理と高度な飼育技術の確立	A	<ul style="list-style-type: none"> ・環境エンリッチメント、ハズバンドダリートレーニングについては取り組み種100%を達成しただけでなく、対象種を拡大しつつ質の維持・向上に取り組んでいる。 ・他園館より参加者を募ってエンリッチメントワークショップを開催し、新たな知見の獲得に努めた。 ・これらの活動は、動物たちが健康で幸せに暮らせる環境を創出するだけでなく、動物福祉に配慮した高度な飼育技術の確立に貢献するものである。 ・獣舎整備については、工事中で地中障害物等の当初予期できなかった事由が発生したことにより年度当初に予定していた進捗率に達しなかったものの、法人の責に帰すべき原因ではなかった。 ・上記より、計画どおり進んでいることからA評価とする。 	16	令和5年度に起きた動物の逸走事故を踏まえ、獣舎整備の際の確認を徹底するとともに、既存獣舎についても定期的に施設チェックを行う。また、事故の風化を防ぐため、継続的な安全教育を実施する。	Ⅲ	Ⅲ	<p>項目17（環境エンリッチメント・ハズバンドダリートレーニング）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境エンリッチメントに関するワークショップを開催し、他園館の職員とともに取組を向上させた点が素晴らしい。 <p>項目19（リニューアル工事）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リニューアル工事については予期できない事情により遅れており、法人としては責任や改善できる点が無いのではないかと。 	
				17	「環境エンリッチメント及びハズバンドダリートレーニング取り組み方針」で定めた取り組み種の進捗：トレーニング92.5%について100%を目指す。エンリッチメントについては100%となっているため、質の向上を図る。	Ⅳ	Ⅳ		
				18	新病院・研究棟整備の基本構想（令和7年度策定予定の基本計画のベースとなるもの）を、引き続き関係部署からなるPTにて協議し、策定する。	Ⅲ	Ⅲ		
				19	第一期リニューアル整備事業に関して令和6年度当初の計画工程に対し、年度末の年度進捗率が100%となるよう整備を実施する。	Ⅱ	Ⅱ		
				20	維持管理計画に基づくとともに、動物福祉の観点にも配慮し必要な小規模改修を計画的に実施する。	Ⅲ	Ⅲ		
	4 繁殖及び調査研究活動の推進	A	<ul style="list-style-type: none"> ・繁殖技術の向上に継続的に取り組んだほか、令和6年度はオオサンショウウオの保全に向けて、年間を通じて府内の域内保全活動に参加するとともに、普及啓発の講演を開催し、種の保存に寄与した。 ・調査研究については、引き続き飼育各班に研究テーマを割り当て、研究を実施したほか、安楽殺ガイドラインを策定し他園館から提供を求められたほか、逸走事案の発表により業界全体の安全性向上に貢献するなど園の信頼向上にもつながった。 ・上記より、計画どおり進んでいることからA評価とする。 	21	繁殖推進種ごとの繁殖に向けたチェックポイントの項目を継続実施するとともに、必要に応じてチェックポイントの見直しを継続する。	Ⅲ	Ⅲ		<p>項目25（研究）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安楽殺ガイドラインについては他園の模範となることができた。 ・逸走事案の発表について、多くの参加者が業界の重要事例として参考とするものとして印象に残り、安全性向上に貢献できた。高く評価したい。
				22	オグロヅルの継続的な精液採取や他園館との連携によるメスへの精液注入など人工繁殖に向けて取り組む。	Ⅲ	Ⅲ		
				23	<ul style="list-style-type: none"> ・ニホンシガメについて保全につながる啓発活動を行い来園者の理解を深める。 ・オオサンショウウオの保全につながる企画を立案し実施する。また、生息地の調査に同行し、保全の知識や調査手法の獲得に努める。 	Ⅲ	Ⅲ		
				24	「地方独立行政法人天王寺動物園の調査研究の方針」で定めた重点領域である①動物繁殖生理学領域（種の保存）②動物行動学領域（動物福祉）③その他基礎研究領域（生物多様性）において、連携協定を締結した大学・機関、その他様々な組織と継続的に調査研究へ取り組む。	Ⅲ	Ⅲ		
				25	園内掲示、ホームページ等で共同研究実績や、取り組み段階でも可能なものについては発表し、知見の共有を図るとともに、当園の成果については研究会等で発表する。	Ⅳ	Ⅳ		

大項目（中期目標より）				小項目（R6年度計画より）				評価委員会意見
番号	内容	評価	評価の理由	番号	内容	法人評価	市長評価	
2 業務運営の改善及び効率化に関する事項	1 自律的な組織経営	B	・機動的な組織体制の構築に向けた取組を行っており、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。	26	引き続き法人の目指す姿を対外的に発信する。また、法人の目指す姿の実現に向け、職員の意識醸成等に継続的に取り組む。	Ⅲ	Ⅲ	
				27	法人の組織体制（外部の専門人材登用を含む）について検討し、随時採用をはじめ柔軟に対応する。	Ⅲ	Ⅲ	
	2 人材の確保・育成と職員の能力向上・意欲喚起	B	・研修等を実施し、継続して人材育成に取り組んでいる。 ・インセンティブが適正に働く人事評価制度を構築し、運用を開始した。今後、職員の能力向上と意欲喚起につながることを期待したい。 ・上記より、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。	28	必要に応じて人材育成方針及び計画の修正、資格取得支援対象資格の追加を行う。	Ⅲ	Ⅲ	
				29	人材育成方針及び計画に基づき研修を実施する。多様化、複雑化に伴い内容が相互に関連、重複する研修については類型化のうえ体系的に実施する。	Ⅲ	Ⅲ	
				30	令和5年度に改正した評価制度の内容について検証を実施するとともに、よりインセンティブが働く評価制度の構築に向けて検討、実施する。	Ⅲ	Ⅲ	
	3 効果的・効率的な業務執行	B	・適宜、市と情報共有を図りながら進捗管理を行ったほか、各種システムについても安定して運用しており、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。	31	年度計画及び中期計画の進捗状況について定期的に市と確認する。	Ⅲ	Ⅲ	
				32	人事財務システムの安定運用を図るため、操作マニュアルの更なる充実を進めるとともに、必要に応じてバージョンアップや新たなシステム導入を検討する。	Ⅲ	Ⅲ	

大項目（中期目標より）				小項目（R6年度計画より）				評価委員会意見
番号	内容	評価	評価の理由	番号	内容	法人評価	市長評価	
3 財務内容の改善に関する事項	1 収入の確保	B	<ul style="list-style-type: none"> ・入園料収入は目標値に届かなかった一方で、入園料外収入については営業活動によって法人ファンクラブの更新や新規寄附等につながっただけでなく、金融機関と遺贈寄附にかかる協定を締結した。収入の確保に向けて着実に取り組んでいる。 ・上記より、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 	33	入園料収入5.9億円・入園者数206万人を目標とする。（令和6年度予算）	Ⅱ	Ⅱ	<p>項目33（入園料収入・入園者数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入園者数は動物園の魅力に対する評価そのものである。 ・無料入園者数について「みなし収入」として評価することもできるのでは（総額主義の観点）。 ・無料入園者も何も買わないことはないだろうから、グッズ収入につながるし、グッズも魅力の一つである。 ・自己財源確保のため、入園料（単価）を上げるべき。 <p>項目34（クラウドファンディング）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できなかったことは残念ではあるが、前向きに検討した結果の仕切り直しと理解する。クラウドファンディングは参加した人を今後はどうつなぐかが大事。 <p>項目35（渉外営業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伴走支援してくれる専門家のアドバイスを受け入れる体制が重要。
				34	令和4年度に実施したクラウドファンディングで培ったノウハウを生かし、2回目のクラウドファンディングを実施する。	Ⅱ	Ⅱ	
				35	これまでの営業実績の検証を踏まえた「天王寺動物園における渉外営業戦略」に基づき渉外営業を実施し、入園料外収入の確保に努める。	Ⅳ	Ⅳ	
				36	寄附額12百万円（ファンクラブ、クラウドファンディングを除く）を達成する。	Ⅳ	Ⅳ	
				37	園内事業者と連携しながらオリジナルグッズの開発と販売促進を行い、売上目標額22百万円を達成する。	Ⅲ	Ⅲ	
	2 経費の節減	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの排出量や光熱水費の削減に継続的に努めており、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 	38	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの排出量削減及びペーパーレス化に取り組む。 ・水道・電気使用量について、前年度（令和5年度）と比較・検証を行い、使用量節減の方策（新オープン施設を除く既存施設での効率化等）を検討・実施する。 	Ⅲ	Ⅲ	
				39	第一期リニューアル整備事業にかかる整備費（物価上昇や地中障害対策等の外部影響を除く）について、中期計画で定める予定額（6,460百万円）内での整備を目指し、内容や仕様の見直し等によりコストを縮減する。	Ⅲ	Ⅲ	

大項目（中期目標より）				小項目（R6年度計画より）			評価委員会意見
番号	内容	評価	評価の理由	番号	内容	法人 評価	
4 その他業務運営に関する重要事項	1 内部統制の強化	B	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して内部統制にかかる取組を実施しているほか、不適正事案の発生に際しても適宜対応し、再発防止策を講じている。 ・おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 	40	内部統制委員会において、内部統制の整備及び運用に関する定期的な状況報告を踏まえ、必要な改善策を検討する。	Ⅲ	Ⅲ
				41	リスク管理規程に基づくリスク管理を着実に実施する。	Ⅲ	Ⅲ
				42	諸規程について必要に応じて見直しや整備を行うとともに、特に重要な規程（就業規則、職員倫理規程、契約規則など）については、全職員を対象とした研修を定期的を実施する。	Ⅲ	Ⅲ
				43	コンプライアンス意識の浸透のため、研修のほか強化月間などの取り組みを継続して実施する。	Ⅲ	Ⅲ
				44	個人情報取扱事務に関する重要管理ポイントが着実に浸透するよう、研修等で周知を図る。	Ⅲ	Ⅲ
				45	内部監査・監事監査を実施するとともに、改善措置や不適正な事案等の発生を受けた再発防止策が講じられているかを随時監査において確認する。	Ⅲ	Ⅲ
				46	セキュリティポリシー、マニュアルの運用状況を適宜検証のうえ改定を行うとともに、設立団体である大阪市と同等の研修を実施する。	Ⅲ	Ⅲ

大項目（中期目標より）				小項目（R6年度計画より）				評価委員会意見
番号	内容	評価	評価の理由	番号	内容	法人評価	市長評価	
4 その他業務運営に関する重要事項	2 来園者の安全確保	B	・来園者の安全確保に向けて、継続して取り組んでおり、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。	47	大規模かつ長期間にわたる工事が継続することから、来園者及び職員の安全対策に配慮する。	Ⅲ	Ⅲ	
				48	来園者と職員の安全確保及び安定した園運営の観点から、獣舎及び園内施設の定期点検を着実にを行う。	Ⅲ	Ⅲ	
				49	・引き続き初動訓練に重きを置いた災害訓練を実施する。特に勤務時間外の発災を想定した訓練を実施する。 ・猛獣脱出対策訓練については、事前に職員には周知せず、シナリオのないブラインド訓練を実施する。また、あらたに想定される複数の動物逸走について机上訓練を実施する。	Ⅲ	Ⅲ	
	3 職員の安全衛生管理	B	・現時点ではおおむね計画どおりであることから、B評価とする。	50	安全衛生管理体制を確立するとともに、健診等も含め職員の健康保持のための取り組みを進める。	Ⅲ	Ⅲ	
	4 環境に配慮した取組の推進	B	・環境に配慮した取組を継続して実施しており、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。	51	SDGsに関する園内での取り組みを拡充するとともに、企業等と協働しSDGsの取り組みを進める。	Ⅲ	Ⅲ	
	5 情報公開の推進	B	・法人が公開する財務諸表や年報について、内容の充実を図るよう検討した。 ・おおむね計画どおりであることから、B評価とする。	52	法人に対する理解を深めてもらうよう、財務諸表や年報をはじめとする法人情報等の情報公開を推進する。	Ⅲ	Ⅲ	
6 BCPの策定	B	・現時点ではおおむね計画どおりであることから、B評価とする。	53	前年度（令和5年度）に発生した動物逸走や停電事案を踏まえ、BCPの改定を行う。	Ⅲ	Ⅲ		

■全体評価

【市長評価】

全体として計画どおりに進捗している。

令和6年度の主な成果として、動物園コミュニティ活動へ積極的に参加したことにより、他の施設からの信頼を向上させた点が高く評価できる。具体的には、のとじま水族館や葛西臨海水族園から動物を一時的に預かり、健康を保ったまま返還したことや、研究会において逸走事案に関する発表を行い業界全体の安全性向上に貢献したことが挙げられる。また、研究会で得た知識を園内で共有・実践することで飼育技術の向上と環境改善を図る体制が整いつつあり、さらに、他の施設から参加者を募った環境エンリッチメントに関するワークショップ開催や、安楽殺ガイドラインの提供を通じて、業界内における天王寺動物園の存在感を高め、生物多様性保全に貢献できた。

独法化後の動物福祉向上や繁殖に関する取組が評価され、7月には「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（種の保存法）に基づく「認定希少種保全動物園」に認定された。これにより動物導入手続きが簡略化され、孵化までの時間を考慮すると移動可能な日数が限られるニホンイヌワシの有精卵をスムーズに譲り受けることができた。また、グラントシマウマなど複数の動物も導入しており、これらの法人の運営により、動物園の魅力が向上している。

その他、収入確保に関しては、営業活動による寄附増加や遺贈寄附にかかる金融機関との協定締結が着実に進展している点を評価する。一方で、コンプライアンスに関しては、令和6年度には複数の不適正事案が発生したことを受け、リスク管理と再発防止策についての継続的な取組を求める。

令和7年度は第一期中期目標期間の最終年度にあたる。過去の取組を振り返り中期目標の達成に努めるとともに、第二期以降を見据え、法人とそれを取り巻くステークホルダー全体においてビジョンの共有を行い、目標達成に向けて全力で進むことを期待する。

【評価委員会意見】

本市の評価について異論は無い。

ボランティア制度については、量ではなく質で評価すべきである。天王寺動物園としてどのようなボランティアをどう育成するのか、今後の戦略性に期待する。

内部統制に関する施策は、効果が見えにくく、評価点へのあてはめが難しい面もあるが、今後も情報管理についてはリスクがあるので留意してほしい。

長期的なビジョンを明文化し、市やその他多様なステークホルダーと共有することが大切なので、第2期に向けて取り組んでほしい。